令和８年１０月１日

３年生保護者　様

長久手市教育委員会教育長　　大澤　孝明
長久手市立長久手中学校長　　名倉　健

令和８年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

清秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この調査は、国語、数学、英語について、学習指導要領で示された、知識・技能や思考力・判断力・表現力等を調査したものです。今回は英語においては３技能（聞く・読む・書く）について、WEB上で調査を実施し、IRT スコアを導入して評価を行う新たな取り組みがありました。また、生徒の学習意欲や生活習慣についても調査を行いました。その結果について、学校と長久手市教育委員会が協力し傾向をまとめましたので、概要をお知らせします。

今後は、この調査結果を学習・生活の指導に活用してまいりたいと思います。ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

１　国語について

長久手市では、全体の正答率、設問ごとの正答率ともに、県・全国の正答率を上回っています。特に、「助動詞の働きや単語の活用について理解する力」「目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する力」は、おおむね定着しています。一方で、「語句の辞書的な意味を踏まえ、文章の意味を捉える力」「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする力」については、課題が見られます。

本校においても、おおむね全ての領域において県・全国の正答率を上回っています。とりわけ、「話し合いの内容を捉えたりまとめたりする力」など、「話すこと・聞くこと」の関する「思考・判断・表現」の観点で、県・全国より大きく上回る正答率となっています。一方で、「文章を校正する力」に関する問題は、県の正答率をわずかに下回っています。

今後は、「書くこと」をはじめとした国語の表現力に加え、文章の展開を工夫する力を含めた、総合的な国語力の向上に取り組んでいきます。

２　数学について

長久手市では、全体の正答率、設問ごとの正答率ともに、県・全国の正答率を上回っています。特に、「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る力」「箱ひげ図と四分位数の対応について理解する力」は、おおむね定着しています。一方で、「数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力」「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明する力」に課題が見られます。

本校では、全ての領域において全国の正答率を上回っています。とりわけ、２つの直線が平行になるための条件の理解や三角形の合同を基にした証明問題など、「関数」と「図形」に関する領域

について、県・全国より特に高い正答率となっています。一方で、本市の課題でも挙げられているように「さいころの目の確率を求める問題」など、データの活用に関する問題では県の正答率をわずかに下回っています。

今後は、基本的な知識・技能の確実な定着に加え、データの活用や関数に関わる課題解決型の学習を充実させ、数学的思考や応用的な処理能力が高まるように取り組んでいきます。

3　英語について

長久手市では、平均 IRT スコア、設問ごとの正答率及び予測正答率ともに、県・全国の正答率を上回っています。特に、「日常的な話題について、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりする力」「音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用する力」は、おおむね定着しています。一方で、「社会的な話題について短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書く力」「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く力」に課題が見られます。

本校においても、「日常的な話題について、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりする力」は県・全国より特に高い正答率となっています。一方で、読むことの領域において「日常的な話題について、自分の置かれた状況から判断する力」に課題が見られます。また、話すことの領域においても「日常的な話題や社会的な話題について、自分の気持ちや考えを話す力」にも課題が見られます。

今後は、語彙や表現、文法の働きなどの知識の定着に加え、自分の考えを発表したり、意見を交流したりする活動を充実させ、話す力が高まるように取り組んでいきます。

4　生活について

長久手市では、多くの設問で肯定的な回答している生徒の割合が高く、前向きな気持ちで生活している生徒が多いことが伺えます。しかし一方では、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。」「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。」という設問に対して、肯定的な回答の割合があまり高くないという課題が見られます。

本校では、肯定的な回答の割合は県・全国と同水準であるものの、その内訳としては「どちらかといえば」という回答の割合が高い傾向にあります。また、友達関係や普段の生活の満足度に関する設問では、「当てはまる」という強い肯定の割合が特に高くなっています。タブレット端末などのＩＣＴ機器に関する設問では、授業での利用頻度が高く、情報の収集には自信をもっている一方で、図や表などを使って情報を整理することに苦手意識を抱いています。

今後は、自信をもって自己表現できるような生徒指導・生活指導を継続しつつ、ＩＣＴ機器を適切に活用して情報を整理・分析する力を高める指導に取り組んでいきます。

＜問い合わせ先＞

長久手市教育委員会教育総務課指導室　　℡０５６１－５６－０６２６

長久手市立長久手中学校　教務主任　　℡０５６１－６２－０００９